

(臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

EC療法におけるアプレピタントとホスネツピタントの制吐効果の比較検討

[研究責任者]

江南厚生病院 薬剤部 村上絢香

[研究の概要]

乳がん治療に使用されるEC療法は、悪心・嘔吐の副作用が高頻度で発生するとされており、副作用予防として3種類の制吐薬(5-HT₃受容体拮抗薬+NK1受容体拮抗薬+デキサメタゾン)を使用します。当院ではNK1受容体拮抗薬にアプレピタントを使用していましたが、2022年10月より新規薬剤であるホスネツピタントに変更しています。本研究はそれぞれの制吐剤による効果の比較を目的として実施します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2020年1月1日から2023年4月11日の間に当院にてEC療法またはdose-dense EC療法が開始され、電子カルテにて副作用の発現状況が確認できる方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、治療開始日、実施レジメン、1コース目投与後の悪心・嘔吐のGrade評価、追加治療の有無・内容等

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院 薬剤部 村上絢香

電話 0587-51-3333 FAX 0587-51-3337